

母親代表で交通安全について提言

結城ミヨさん

■ほら車！そこもあぶないうら通り



交通安全についての県民代表の提言要旨

交通安全県宣言記念の日、県民会館では交通安全県宣言記念県民大会が開催され、当町から結城ミヨさんの「交通安全についての県民代表の提言」が紹介されます。

母親代表

三島郡越路町

結城ミヨ

最近、新聞、ラジオ等は毎日のように交通事故のニュースを報じていますが、この交通事故という言葉を耳にするたびに私は身のほそる思いです。昨年の四月四日のことです。私の長男が交通事故を起こし、よその子どもにけがをさせたのです。さいわいその子どものけがは軽かったのですがなでおろしました。現在は元気で遊んでおりますが、しかしその子どもを見るたびにすまない気持ちでいっぱいです。母であり、妻であ

交通安全県宣言 記念県民大会で

七月十日は交通安全県宣言記念日で、全県民が犠牲となった事故者の冥福を祈り人命の尊さを知らるともに交通ルールを守ることをお互いが確認しあい、交通事故のない明るい新潟県をきづこうと、県をはじめとし、各市町、団体が一体となって交通安全の呼びかけをいたしました。

三本目の農免道路

越路地区農免道路 完成予定 昭和四十六年

来迎寺地区農免道路 完成予定 昭和四十七年

東谷地区につづいて、飯塚と来迎寺に農免道路がとりつけられることになり、七月十日にその起工式が盛大にとり行なわれました。飯塚は越路地区農免道路としてすでに昭和四十四年に着工しており、完成は昭和四十六年の予定で、来迎寺地区農免道路は今年の着工で昭和四十七年完成の予定です。



農地事務所長と大石組社長による鉄入れ式

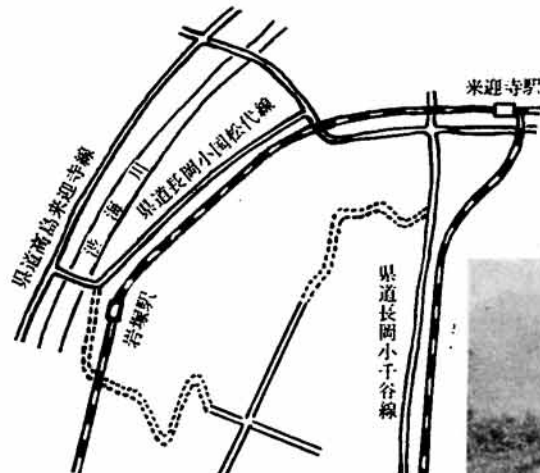
越路地区農免道路は、飯塚部落と越路原を結ぶ延長一、九四〇メートルで、来迎寺地区農免道路は、来迎寺部落と越路原を結ぶ一、四〇四メートルです。この農道により利益を受ける耕地は一七五ヘクタールにおよびます。

受益耕地は一七五ヘクタール

近代農業に

即した農道に

将来は越路原農道の舗装も計画されており、それ等の道路と結ばれ、越路原を越えて自動車で来迎寺、岩塚、塚山への往来が自由になり、大型農業、近代化農業に即した道路として整備されてゆきます



44年事業で出来た飯塚の農免道路(越路原耕地の附近)

※農免道路とはいうのは、農業機械などに使うガソリンの揮発油税を免税するかわりに農道を整備しようということから作られる道路のことです。「農林漁業用揮発油税財源身替農道整備事業」によるものです。したがって建設費については三分の二が国が負担し、残りの三分の一を県と地元が負担することになっています。

たべ物を清潔に

手を洗う
手指は細菌がいっぱいいます。調理の前、食事前は水道の水で洗い流し、洗剤で逆性石けんで念入りに。調理の途中でもよごれたものにふれたら、いちいち手を洗って次に移ることを傷ついた手で食べ物をいじらないことも大切です。
台所はいつもきれいに
細菌を運ぶネズミ、ハエ、ゴキブリの追放をしましょう。包丁、まな板、ふきんなどの台所道具は必ず熱湯消毒を。つくりおきはやめよう。でき上ったら早めに食べましょう。おいておく間に菌がついたり、繁殖したりします。
やむをえずおく時は食べる前にもう一度加熱殺菌を。
火をとおす
細菌のほとんどは摂氏六〇度に熱すれば死んでしまいます。夏はナマ物を避け、煮炊きしてから食べましょう。食べものの中で熱をとおして食べるのが大事です。
冷蔵庫を過信するな
細菌は摂氏五度以下ならまず活動はできません。買ってきた品物はひとまず冷蔵庫へ。
しかし過信は危険です。ぎゅう詰めだったり、ひんぱんに開閉すると低温が保てません。

子ども代表

新潟市立鳥屋野中学校

篠崎 彰

僕たちの学校をとりまく道路は、車の往来がはげしく、安全な通学道路はありません。ですから危険箇所を安全パトロール、自転車通学生に過去の事故が新一年生に集中した例から、特に色々とごまごま指導がなされていきます。その結果、ここ三〜四年ほどはさしたる事故もなく経過していますが、根本は「車道」と「人道」「自転車道」の区別がないからだと思えます。昨年、学校で全校生徒に対して、家庭を守る立場です。から、かわい子子ども、かけがいのない主人、どちらも被害者であっても加害者であっても苦しみは変わりません。私は、この苦しみを皆さんに味わってもらいたくないと思ひ、みずから交通安全母の会に参加し、私達でやれるだけやってみようと思っております。交通安全母の会において基本的な正しい交通規則を身につけ、そうすることによって母として家庭を通じ幼児教育に、又婦人として飲酒運転追放にも役立ち、少しでも悲惨な交通事故防止に協力していきたいと思ひます。

運転者代表

中頸城郡青海町

舟見 金治

まず、歩行者の皆さんへお願いですが、とにかく「道路交通法」を一度じっくり読んでいただきたいと思います。本来、道路というものは歩行者のためのものかもしれませんが、現実には人と車が同時に使用しているわけですから、両者が法で定められた事柄をしっかりと守らない限り、事故はなくなりません。万一事故が起きた場合、皆さんもそうです。私ども運転者も極めて悲惨な生活を

事業者代表

水沢化学工業 中条工場長

私共の工場は、化学製品を生産しております。製品、製産の工程では硫酸を始め種々の薬品を使いますし、高圧、高温機械の操作等もあり、作業の安全には細心の注意を払っております。しかしながら従業員の身体を守るという立場から考えますと、工

(次ページへ)

